

新規事業評価調書

【砂防事業】

宮ノ谷川

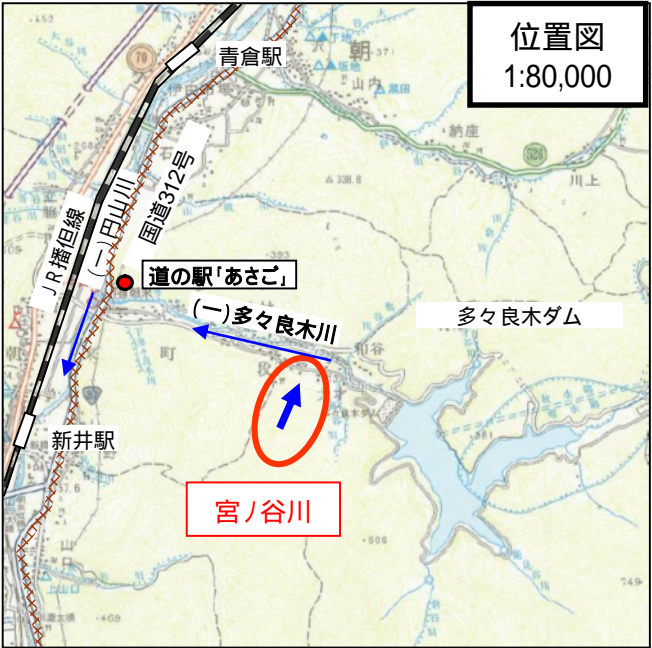
県土整備部
土木局 砂防課

投資事業評価調書（新規）

| | | | | | |
|------|-----------------|---------------------|-------------------------|----|----------------|
| 部課室名 | 県土整備部土木局 砂防課 | 記入責任者職氏名 (担当者氏名) | 砂防課長 市川和幸 (砂防係長 山田弘) | 内線 | 4459 (4465) |
|------|-----------------|---------------------|-------------------------|----|----------------|

| | | | | | |
|---|------|---|---|------------|-------|
| 事業 種目 | 砂防事業 | 事業名 | 事業区間 | 総事業費 | 1.5億円 |
| | | 通常砂防事業 みやのたにがわ 宮ノ谷川 | 朝来市 たたらぎ 多々良木 | 内用地 補償費 | 0.1億円 |
| 所在地 | | | 着手予定年度 | 完了予定年度 | |
| 朝来市多々良木 | | | 平成26年度 | 平成28年度 | |
| 事業目的 | | | 事業内容 | | |
| <p>土石流対策 当溪流は土石流発生の危険性が高いことから、土石流危険溪流となっており、保全対象は人家20戸、市道等がある。そのため、地域の人命・財産を守り、安全・安心な暮らしを支えるために、「第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画(H26～H30)」に基づき、砂防事業を実施する。</p> | | | <p>・砂防えん堤工 1基 (高さ10.0m, 長さ50.0m) 〔負担割合 国:1/2、県:1/2〕</p> | | |
| 評価視点 | | 評価結果の説明 | | | |
| (1)必要性 | | <p>(一)円山川水系多々良木川に流入する土石流危険溪流である。近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生するなど、流域の荒廃が進行している。溪床には土砂が厚く堆積し、多量の土砂が流出する可能性があり、谷出口には多くの人家があることから、土砂災害の危険性が高い。</p> | | | |
| (2)有効性・効率性 | | 警戒避難体制の整備に加え、ハード整備により土砂災害対策の充実を図り、地域の安全・安心な暮らしの確保に大きな効果がある。 | | | |
| [事業執行環境] | | 地元要望も強く、周辺道路の利用に地元の理解が得られていることから、円滑な事業執行が可能である。 | | | |
| (3)環境適合性 | | 地山の改変を最小限にとどめ、環境保全に努める。 | | | |
| (4)優先性 | | 流保全対象には人家20戸、市道などがあり、流域の荒廃が進行している。そのため、地元要望も強く、協力体制も見込めることから、早期事業着手を図る。 | | | |

みやのたにがわ
宮ノ谷川
[朝来市]



計画概略図
縮尺 1:5,000

